

個人投資家様向けオンラインセミナー

2023年7月8日（土）



JQA-QMA16212



MS
CM009

確かな技術とあくなき挑戦で、創造社会を切り開く

インスペック株式会社

Copyright 2023 inspec All Rights Reserved



(証券コード：6656)

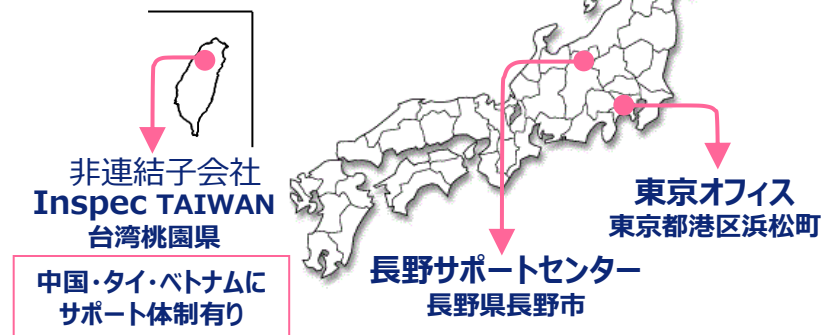
- 1.インスペックのご紹介**
- 2.2023年4月期業績のご報告**
- 3.インスペックの成長戦略**

会社概要 (2023年4月30日現在)



商 号	インスペック株式会社
本 社	秋田県仙北市角館町雲然荒屋敷79-1
創 業	1984年（昭和59年）1月
上 場 市 場	東京証券取引所スタンダード市場
代 表 者	代表取締役社長 菅原 雅史
主 な 事 業	電子回路基板（半導体パッケージ基板・FPC等） の外観検査装置及び製造装置の開発・製造・販 売・サービス
従 業 員	84名
資 本 金	802百万円
発行済株式数	3,983,800株（単元株数：100株）
株 主 数	5,060名

インスペック本社 秋田県仙北市角館町



角館の四季

インスペックの歴史

20th Century

21st Century

昭和59年
太洋製作所創業



昭和63年
(有)太洋製作所設立

平成3年
新社屋建設

1984

カセットテープ
レコーダー向け
磁気ヘッド
組み立て

1988

ハンディカムの
磁気ヘッド
組み立て

1991

FAシステムの
設計製造受託開始



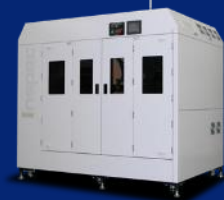
1997

検査装置第1号
リードフレーム検査装置
MV7000発表



2000

第2世代
リードフレーム検査装置
LF2000発表
ロングセラー製品



平成13年1月1日
インスペック株式会社
に社名変更

2001

BGA検査装置
BF8000発表
ロングセラー製品



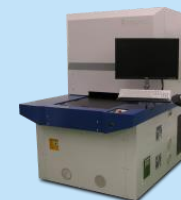
2002

COF検査装置
TR3000発表
シェアトップとなる



2003

ハイエンドPKG基板AOI
SX5000発表
CPU向けPKGに対応



2006

ハイエンドPKG基板AOI
全自動化ライン対応



2012

FPC向け
ロールtoロールAOI
RA7000発表



2016

2017

ロールtoロールDI
RD3000発表



2018

2019

令和4年
東京証券取引所
スタンダード市場へ変更

2022

新製品発表
ロールtoロール
両面同時DI
RD3000FB発表



平成18年
東京証券取引所
マザーズ市場へ上場
本社工場増築

平成29年
東京証券取引所
市場第二部へ市場変更

2023年4月期 業績ハイライト



■ 損益計算書サマリー

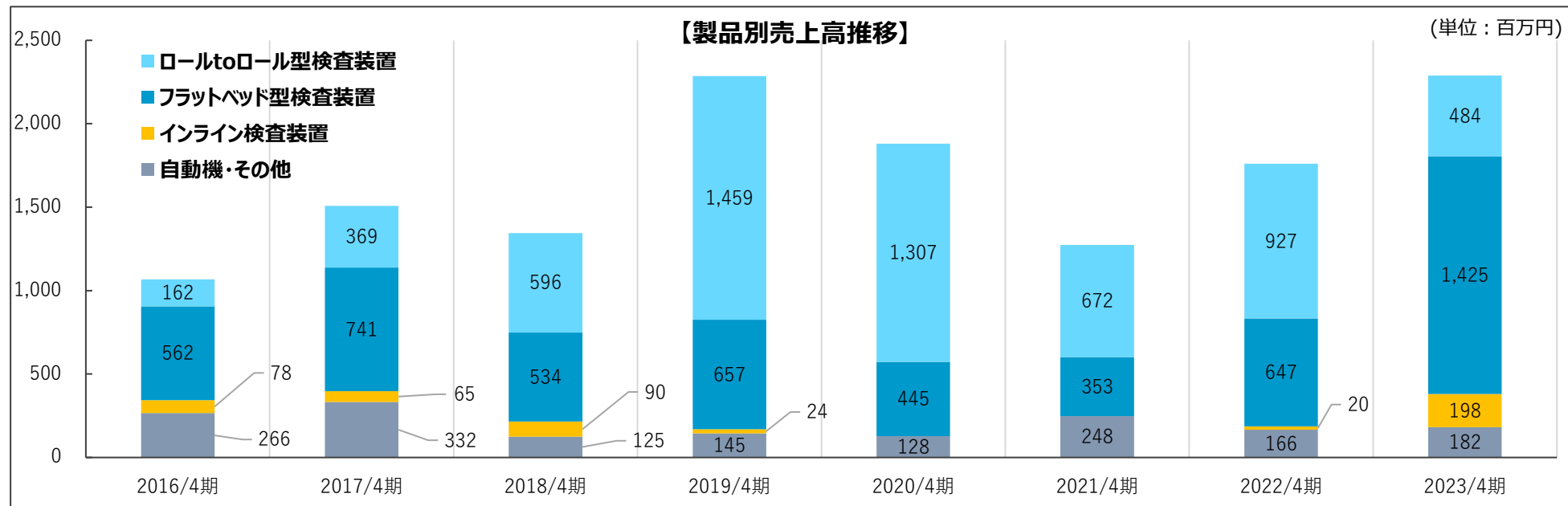
(単位：百万円)

	2023年4月期	2022年4月期	前期比	公表値	増減
売上高	※ 2,290	1,762	528	2,250	40
営業利益	106	18	88	100	6
経常利益	81	132	△51	90	△9
当期純利益	78	155	△77	70	8

※過去最高売上を達成

製品別売上高

	2023年4月期		2022年4月期		前期比 増減率
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	
■ 売上高合計	2,290	100.0%	1,762	100.0%	30.0%
■ ロールtoロール型検査装置	484	21.1%	927	52.8%	△47.8%
■ フラットベッド型検査装置	1,425	62.2%	647	36.7%	120.1%
■ インライン検査装置	198	8.7%	20	1.1%	892.2%
■ 自動機・その他	182	8.0%	166	9.4%	9.4%



2024年4月期 業績予想



(単位：百万円)

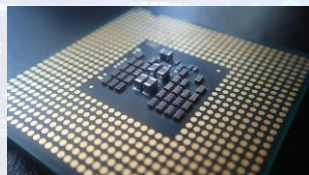
	予想	前期実績	増減	増減率
売上高	2,300	2,290	10	0.4%
営業利益	70	106	△36	△34.3%
利益率	3.0%	4.6%		
経常利益	40	81	△41	△50.9%
利益率	1.7%	3.5%		
当期純利益	30	78	△48	△62.0%
利益率	1.3%	3.4%		

インスペックの事業戦略

1. エレクトロニクスマーケット

事業分野

- 半導体分野
- モバイルデバイス分野



対応製品

高性能検査装置



主要マーケット

- 日本国内
- アジア地域

キーワード

- **5G → 6G**
- **AI**
- **VR・AR・MR**
- **CLOUD**

2. モビリティマーケット

事業分野

- 車載エレクトロニクス
- 航空機の電子機材

対応製品

- RtoR型検査装置
- RtoR型直描露光装置



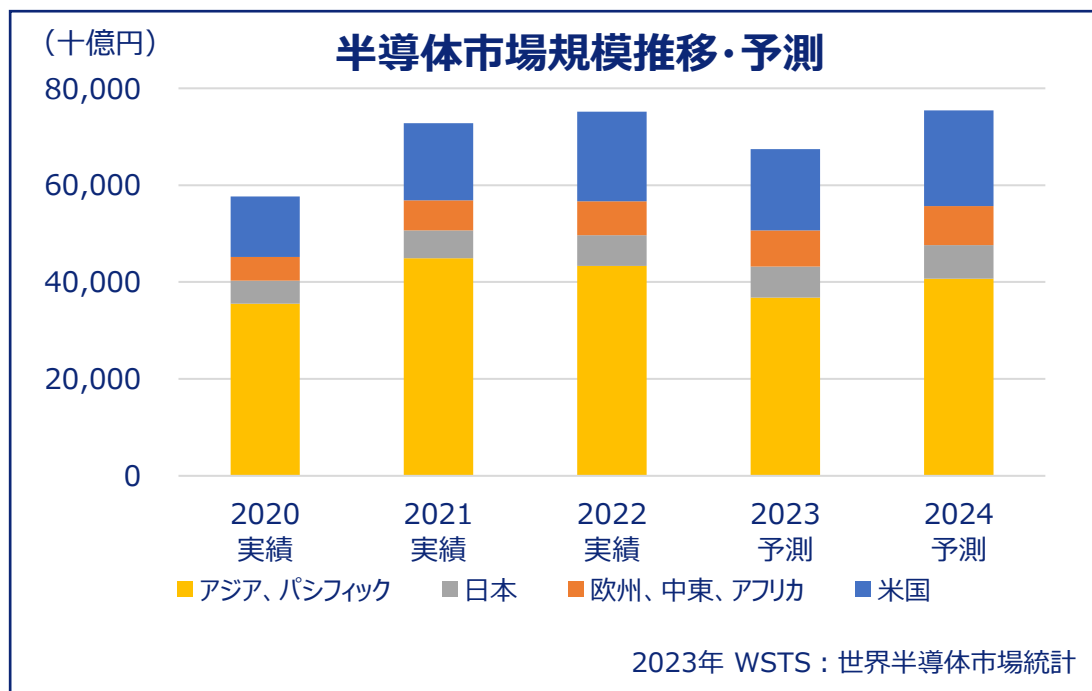
主要マーケット

- 欧州
- 北米
- 日本国内
- アジア地域

キーワード

- **CASE**
- **カーボンニュートラル**
- **車両軽量化**

成長を続ける半導体関連産業



■ 全体市場

回路集積密度の向上による半導体の高性能化が進められてきたが、同技術の進化スピードが鈍化。(2023年 富士キメラ総研)

中長期的に市場は成長し続けると見られているが、2023年度においては、国内大手半導体パッケージ基板メーカー各社は横ばい、あるいは減収の予測により設備投資を先送りする動きが見られる。(2023年 電子デバイス産業新聞より抜粋)

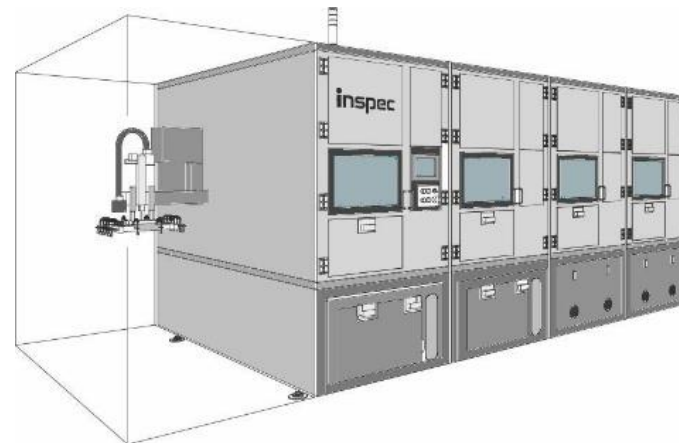


半導体パッケージ基板向けAOI『SX5600』

- インスペック基板AOIのフラッグシップモデル
- 最先端の超高精細基板に対応
- クラス最速レベルの生産性を実現

全自動化ライン

- SX5600を複数台組み込んだ全自動化ライン



半導体パッケージ基板向けAVI『BP7200』

- JEDECトレイをまるごと検査
- クラス最高レベルの超高速検査を実現
- CPU向けパッケージ基板で多くの実績
- 全自動検査 + 全自動良品/不良品振り分け



急成長するEVマーケット



ものづくり日本大賞
経済産業大臣賞

第9回 ものづくり日本大賞・経済産業大臣賞

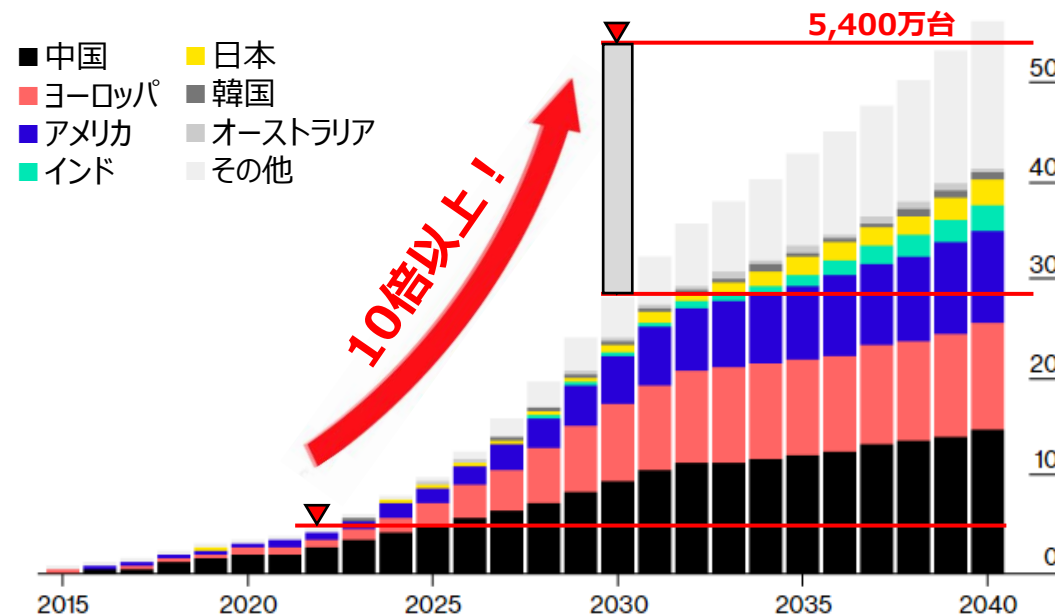
ナンバーワンの主力製品
ライバルを圧倒する高速・高精度検査
ロールtoロールFPC検査装置
『RA7000シリーズ』



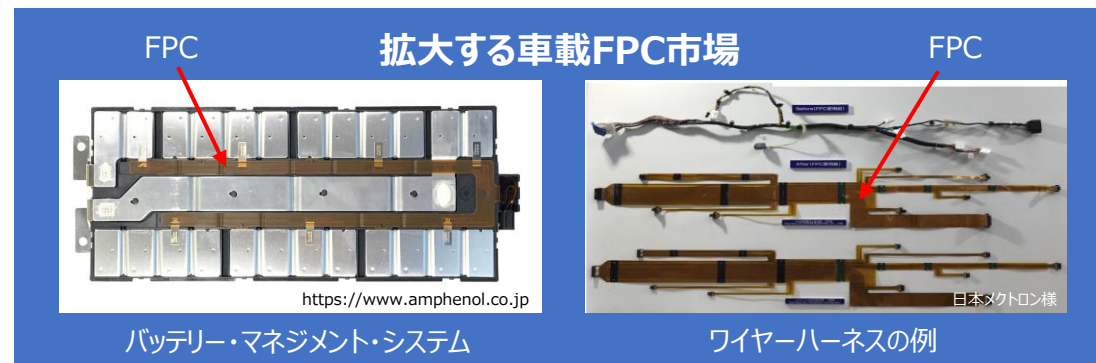
オンリーワンの新製品
車載長尺FPCのシームレス両面同時露光
ロールtoロール型シームレスレーザー
両面同時直描露光装置
『RD3000FBシリーズ』

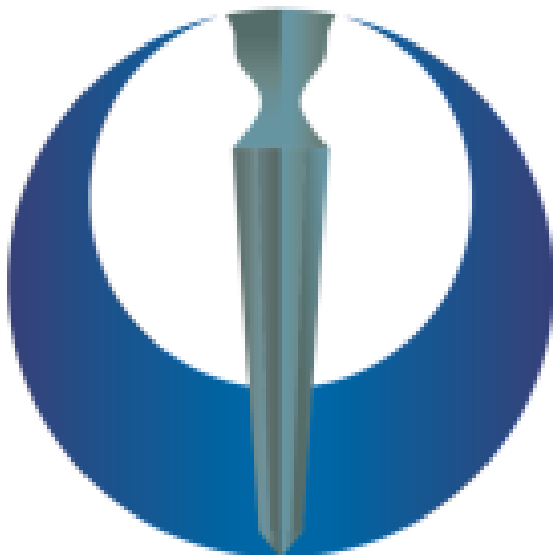
世界初!!

ロイターによる予測（2022年10月） Million EVs 60



EV市場予測（2019年 Bloomberg）





ものづくり日本大賞
経済産業大臣賞



ロールtoロールFPC検査装置
『RA7000シリーズ』

2023年5月31日(水)～6月2日(金)に東京ビッグサイトで開催された
「JPCA SHOW 2023 第52回国際電子回路産業展」に出展いたしました。

新型コロナウイルス関連の規制も緩和され、国内のみならず海外からの来場客も多く、
 検査装置や露光装置の商談に繋がるお問合せもたくさん頂き、大盛況で終わることが出来ました。



■ 当社ブース



■ 主力製品「RAシリーズ」展示パネル



■ 新製品「RDシリーズ」展示パネル

ヨーロッパ地域

自動車・航空機分野



アジア地域

半導体PKG・エレクトロニクス・自動車分野



- インспек直轄
- 代理店
- サポート拠点



北米地域

自動車・航空機分野





今後の戦略

「インスペック Vision 2030」策定に向けて

～ 2022年4月期

2023年4月期 ～ 2025年4月期

2026年4月期～

「インスペック2.0」

既存事業と新事業による成長の
持続と安定した財務体質を実現し、
次のステージへ

- 検査装置、露光装置の新製品開発・販売
- パーパスを策定し全社員一丸となって前進
- アジアへの進出拡大
- 地域貢献と雇用の創出

「創成期」

検査装置事業の核を作り上げ
経営基盤の基礎を築いた時期

「飛躍」

東証プライム市場上場を目指し
更なる高みへ

確かな技術とあくなき挑戦で、創造社会を切り拓く

社員が幸せになれる会社、そしてその先の誰もが輝き心豊かに生きることが出来る社会を目指して

インスペック**2.0**の新たな出発

**「確かな技術とあくなき挑戦で、創造社会を切り拓く」
パーパス経営を実践し、新たな成長戦略を描く**

2024年第2四半期決算発表時(12月上旬)に発表予定

**中期経営計画及び
「インスペック Vision2030」を策定**

私たちの取り組み

活力ある職場づくり

交流・能力開発・仕事と生活の調和によって働きがいのある職場づくり



- 支援学校実習受け入れ
- インターンシップ受け入れ



- 女性社員の雇用・活躍の推進
- 出産・育児・介護休暇の取得推進



- 有給休暇取得推進
- 外部研修の実施

社会貢献活動

地域社会をはじめとした社会貢献活動を推進



- 開発途上国にワクチン提供支援（ペットボトルキャップ回収）
- 社内献血活動



- 角館武家屋敷清掃活動
- 地元災害ボランティアへの登録



- フードロス対策自販機の社内設置
- 社内空調にガスエアコンを使用
- 照明のLEDライト化



- あきたSDGsパートナー登録
- 地元スポーツ団体への協賛

技術開発

検査装置・露光装置の開発を通じて技術革新に貢献



- 検査装置・露光装置による生産性向上への貢献
- 欠陥自動分類技術による人手不足解消への貢献
- 電気自動車等のクリーンエネルギー技術発展への貢献



本資料のお取り扱い上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及又は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。